

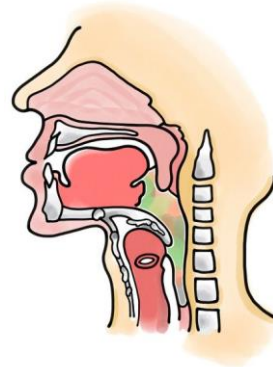
誤嚥性肺炎って聞いたことありますか？

リハビリテーション科

嚥下とは

食べ物を取り込み、口の中で噛み砕いて飲み込みやすい形にし、食道から胃へ送り込むことをいいます。

口やのどが動きにくくなることで、食べ物を噛むことや液体を飲むことがうまくいなくなる状態を嚥下障害といいます。



誤嚥の症状

- ・食事中やお茶を飲むときにむせ込む。
- ・飲み込んだ後も食べ物が口の中に残る。
- ・食後、ガラガラ声になる。
- ・食べるとすぐ疲れて、全部食べられない。
- ・食事中でなくても突然むせ込む。
- ・寝ている時に咳き込む。
- ・体重が徐々に減ってくる。
- ・発熱を繰り返す。



誤嚥とは

飲食物や唾液などが気管や肺に入ることを誤嚥といいます。誤嚥したものが気管を通って肺に届き、食べ物や唾液に含まれる細菌が肺の中で炎症を起こすことを誤嚥性肺炎といいます。

誤嚥性肺炎は現在、日本の死因第6位とされています(左図)。また肺炎患者の約7割以上が75歳以上の高齢とされており、さらに高齢者の肺炎のうち、7割以上が誤嚥性肺炎とされています(右図)。

誤嚥しないように気を付けること

食べやすい食事の形

のど越しが良いもの
べたつかないもの
まとまりのあるもの

食事介助の姿勢

寝たまま食べない
上を向きながら食べない

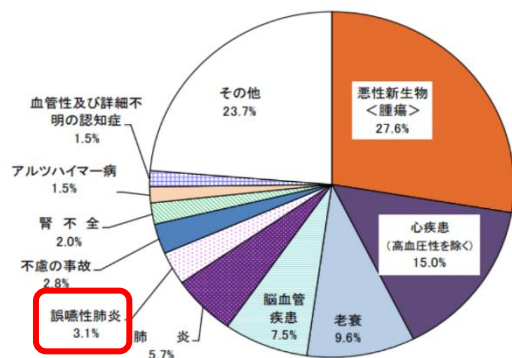
食事ペース

ゆっくりと
口に詰め込まない

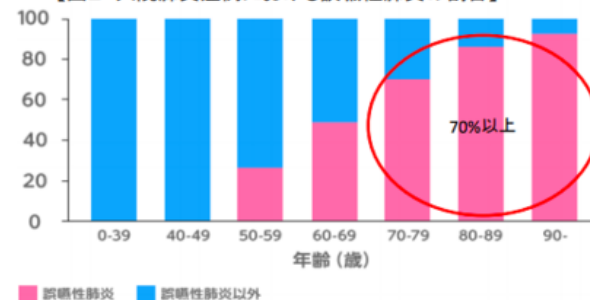
一口の量

薄くて平たいもの
(ティースプーンなど)

図5 主な死因の構成割合 (令和2年(2020))



【図2 入院肺炎症例における誤嚥性肺炎の割合】



出典：(左)厚生労働省 主な死因の構成割合
(右)厚生労働省 高齢化に伴い増加する疾患の対応について